

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市立病院医療情報システム更新事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	市立病院事務局			課	医事課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市病院事業の設置等に関する条例				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市立ひらかた病院で治療が必要とされる患者			
	サブターゲット	市立ひらかた病院で治療行為を行う為、医療情報システムを使用する者			
	ターゲットが抱える課題	電子カルテシステムは、本院の治療の根幹を支える物であり、継続的に安定して動作する必要がある			
	ターゲットが抱える課題	パソコンやプリンター・サーバーは使用年数により劣化し、安定した動作を担保出来ない			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	平時より、保守等の業務や、継続的に使用できる様更新作業も行い、安定した医療情報システムの運用が行える状態。				
事業概要	現在使用している医療情報システムの安定した運用のため、保守および更新の管理を行う。また、適正な診療を行うためのシステムを導入し、地域の中核病院として診療体制を確保する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						安定した医療情報システムの運用が行える。				医療情報システムの保守および更新の管理を行う。令和元年9月にシステム更新を行った。			
指標設定	指標説明					不具合の修正対応件数。(解決・別方法による作業の提案を含む)				診療に支障が出る、もしくは業務に負荷がかかるような不具合の発生件数。システム改修後は件数増加(次回R08)			
	指標種類	単位				単位 件				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					24	20	16	12	24	20	16	12
	実績					27	33			27	33		
	達成度					35%				35%			
分析					新型コロナウイルス感染症に係る緊急の改訂等が多数あったことから、稼働に関して十分な検証が行えなかったためにシステム不具合などの修正対応が増加したものの。				新型コロナウイルス感染症に係る緊急の改訂等が多数あったことから、稼働に関して十分な検証が行えなかったためにシステム不具合などの修正対応が増加したものの。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	2.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。

4. 決算額

(千円)

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人員費					
	正職員、再任用、任期付	18,112	15,950	15,714		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,025	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人員費計	20,137	15,950	15,714		
	物件費計	94,728	92,888	100,161	101,552	99%
	歳出計	114,865	108,838	115,875		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	114,865	92,888	100,161	101,552	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度については、新型コロナウイルス感染症に伴う医療情報システムの改修等が多数あったことや軽微な診療報酬改訂もあり、例年よりも医療情報システムの改修が増加したことにより、システム不具合などの修正対応が発生した。しかし、その後の適正な運用によりシステム不具合の発生率が減少したことで安定した稼働・運用をすることができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	医療情報システムの安定した稼働・運用のため、今後も継続的にシステムの更新及び適切な保守管理業務を行うものとする。

事務事業実績測定調査書

事務事業名称	市立病院診療関係調整事務											
測定年度	2021(R3)年度				部	市立病院事務局				課	医事課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性		内部事務		区分		一般内部管理事務			
事業期間	不明				年度	~				年度まで		
根拠法令等	枚方市病院事業の設置等に関する条例											
関係補助金名称								サンセット		-		
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		市立ひらかた病院で治療が必要とされる患者									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		医療サービス従事者の知識やスキルにバラつきがあれば、質の高い医療が恒常的・継続的に受けられなくなる。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域の中核となる公立病院として、患者に対して医療体制を確保し質の高い医療をサービスを提供できている状態。											
事業概要	①診療および健診提供体制の確保のため必要な連絡調整 ②患者等の受付・登録、診療費の計算・請求、病名登録、各種診断書・証明書の受け渡しなど ③カルテ管理等の医師事務補助作業 ④診療報酬の請求業務 ⑤医療情報システムの運用・管理 ⑥医事業務委託の履行確認等											

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						質の高い医療をサービスを提供できる。				診療および健診提供体制の確保等のため必要な体制を構築する。			
指標説明						医師事務作業補助者が、医師と同席し診療補助を行った患者数。(1日平均)				医師事務作業補助者の配置人数(外来配置の最大人数)			
指標種類		単位				単位				単位			
指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
目標(見込み)						130 140 150 160				14 15 16 16			
実績						151 167				15 16			
達成度						119%				107%			
分析						患者数が増加する中、医師の働き方改革などの観点により、医師事務作業補助者の外来配置人数を増やしたことで、診療補助を行った患者数が増加したものの。				医師からの配置要望に伴い、医師事務作業補助者の外来配置人数の増加を図ったもの。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	2.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	21.09
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。

(千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人員費					
	正職員、再任用、任期付	83,214	19,938	19,643		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	54,901	55,695		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人員費計	83,214	74,839	75,338		
	物件費計	284,764	312,133	306,226	306,227	100%
	歳出計	367,978	386,972	381,564		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	367,978	312,133	306,226	306,227	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、発熱外来等の対応業務などが増加したことから一部医事業務を追加で委託するなど、各部門において柔軟な対応を行った。また、通常の診療業務においても、医師事務作業補助者を追加したことや新たに診療状況がスマートフォンなどで確認ができるホスピションモバイルサービスを導入したことから、医師の負担軽減を行うとともに患者の診察待ち時間の短縮を図ることができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も地域の中核病院として、必要な医療体制を確保し、引き続き質の高い医療サービスを提供する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市立病院医事課運営事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	市立病院事務局			課	医事課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務				
事業期間	不明			年度	~	年度まで					
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称							サンセット	-			
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		医事課職員								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		医事課所管の運営事務を効果的・効率的に執行する必要がある。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市立ひらかた病院事務分掌規程に基づく所管事務をすべての職員が適正かつ効率的に執行するための専門的知識を習得できている状態。										
事業概要	課の運営業務										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)						
指標設定	指標説明		単位					単位					単位				
	指標種類																
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
		実績															
	達成度																
	分析																

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.87
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。

4. 決算額

(千円)

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人員費					
	正職員、再任用、任期付	13,273	11,963	11,786		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	497	2,575	2,297		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人員費計	13,770	14,538	14,083		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	13,770	14,538	14,083		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	13,770	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、各関係機関との調整や補助金事務等において業務が増加するなどしたが、他業務において一部業務の見直しやマニュアルの整備などに取り組み、適正かつ迅速に事務を執行することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	医事課の運営に関する事務について、引き続き適正に処理を行うとともに効果的・効率的に業務を執行していく。